

2018  
夏号  
No.75

穂 濤  
For WASEDA University Old Boys & Girls

発行所  
早稲田大学藤沢稲門会  
発行人 内 田 進  
穂 濤 編 集 委 員 会



ブドウ棚の下で校歌斉唱

10時50分バーベキュー開始  
ドラム缶を縦割りにした特大コンロセット。大量の豆炭の火力は強く、焼き手は大苦戦。特に杉下実行委員など吹きあがる炎と格闘。おかげで多くの肉・野菜・焼きそばが短時間で完成。ビール・酒・ワイン・ジュース等で乾杯。懇談は大いに盛り上がり懇親深まる。  
11時30分、本日のメインイベントの餅つき開始。子供たち全員と大人の有志が杵を振り上げる。有賀会員の手慣れた返しもあり、見事につき上がる。つきたてを大根おろし。

10時、受付開始。リヤカーに食材を乗せて、麦わら帽子で颯爽と登場した園のオーナー富田さんの指示で準備完了。  
10時30分、内田会長挨拶。そして茅ヶ崎稲門会若手の会を代表して参加された志村さんの力強い挨拶。本谷実行委員が日程説明。最

バーベキューと餅つき大会

6月17日(日)、今年で3回目を迎えたバーベキュー大会は、参加者59名(中学生1名、子供7名を含む)で、里山の趣残す弁慶果樹園にて盛大に行われた。  
午前9時30分、幹事集合のぼり旗・受付用具・シャトル車の手配・分別ゴミ袋など準備を整える。  
10時、受付開始。リヤカーに食材を乗せて、麦わら帽子で颯爽と登場した園のオーナー富田さんの指示で準備完了。

アジサイの季節、梅雨の晴れ間で開催!!



美味しそうに焼けてきた!

後に早稲田祭運営スタッフの現役学生5名(男3名、女2名)がエッジの法被姿で登場。気合の入った挨拶と自己紹介で行事スタートは順調に盛り上がる。



早稲田祭実行委員が今年も参加!

13時30分、足立前会長の閉会挨拶後、校歌を全員で斉唱。14時、後片付け後、幹事は食材調達をして頂いた社会福祉法人光友会の中野さんなど、ご支援いただいた多くの方々感謝しつつ解散した。



上手につけるかな?



どら焼!!

tomonsai  
<http://www.wasedaumni.jp/>

■校友の祭典

「2018稲門祭」

例年、記念品の購入にご協力いただいている稲門祭は10月21日(日)に開催。

人気の樽酒のほか、全国、そして世界各地から集まった校友による「ご当地もの」や、早稲田にちなんだ模擬店・催しが待っています。詳細は『早稲田学報』誌面や稲門祭のウェブサイト、Facebookページをご覧ください。

★次はいよいよ地引網参加募集中!  
今年(9月17日(月))敬老の日  
に秋の行事、地引網を開催します。知人・友人・家族などお誘い合わせ、是非ご参加ください。今年はいよいよ多く楽しんでいただけるよう、イベント内容、参加費等工夫しました。参加をお待ちしております。  
(中野正一 記/写真 高野尚志)

穂 瀧

■現役学生の祭典

「早稲田祭2018」

11月3日(土)・4日(日)の2日間にわたって開催。

早稲田祭運営スタッフには、地引網やパーベキューなど藤沢稲門会の行事にもご協力いただいています。

<https://wasedasai.net/>



五月晴れの合宿に参加

五月晴れのもと5月5日から一泊二日でテニス合宿が行われた。場所は、「こいの村あしがら」で、西には霊峰富士、東には大山晴れば江ノ島や横浜のランドマーク・タワーまでも望める風光明媚な場所であった。テニスをしながら、新緑を目にし、ウグイスや小縹鶏の鳴き声も耳にすることのできる自然豊かな場所であった。

参加者は、日帰りの方は4名、一泊二日の合宿の方が14名(内女性2名)。コートは二面を使用し、初日は1時から5時まで、二日目



目標はウインブルドン?

は9時から正午まで皆でワイワイと大笑いしながらテニスを楽しむことが出来ました。

夜の食事会でのお話は、ユーモアとウイットに富み実に楽しいものでした。私はおなが痛くなるほど大笑いをして、教養人のお話を満喫致しました。二次会のカラオケでは、懐かしい曲を含め、皆さんの美声を聞くことも出来ました。私は、先月入会させていたいたばかりの新人でしたが皆様から優しくお声がけしていただき助かりました。高齢の先輩の方々が実に楽しくテニスをしている姿を目にし、私も健康に注意して末永くテニスをして行きたいとも考えました。

皆さんと一緒に楽しい時を過ごせた事に感謝致します。又来年も参加したいと思えます

成毛信男(昭和46英文)

鎌倉『妙本寺・光明寺などを巡る』

第26回史跡巡りの会



妙本寺山門にて

快晴の5月14日(月)、鎌倉駅に26名が集合し、材木座に向き出発。

まずは日蓮の舍利を分骨し東身延とも呼ばれた本覚寺で流罪放免後2ヶ月止宿した夷堂等を拝観。

大町小町の村境の夷堂橋を渡り、日蓮宗霊跡本山・妙本寺に。広大な境内に堂々と聳える祖師堂で合掌後、北条氏に滅ぼされた比企一族の供養塔、蛇苦止堂等を見学。次に常栄寺(ぼたもち寺)、

別願寺、長勝寺、啓運寺、妙長寺、向福寺を巡って材木座公会堂で昼食。

午後は新田義貞創建の九品寺から著名人の別荘地・弁ヶ谷を抜け、浄土宗大本山・光明寺に。山門に登ると、楼上で釈迦三尊・四天王・十六羅漢がお出迎え。眺望も良好。続いて蓮乗院・千手院を拝観し、

小堀遠州作の記主庭園を鑑賞。光明寺からバス停に向かう途中、延岡藩主「内藤家墓所」に立寄り、宝篋印塔等が林立し、東南アジアかと錯覚する光景に一同驚愕。

吉澤幹事の丁寧な説明のお陰で鎌倉の歴史の奥深さを楽しめた一日でした。

野村幸男(昭49商学)

快晴の『大磯』を歩く

快晴の5月20日(日)の10時に38名が大磯駅に集

第3回遊歩会

合。まず細い道を10分程歩き、昭和16年に移り住んだ儘保存の旧島崎藤村邸を見学。終の住処となった住居である。皆管理人の説明に耳を傾けた。

大磯駅で解散となったが、有志は場所を移し懇親を深めたことは云うまでもない。最後に楽しい一日を過ごさせて頂いた幹事の皆様に感謝申し上げます。

(舩岡 健記)

続き伊藤博文の本邸「滄浪閣」の前を通り旧東海道の松並木を30分程歩き進んだ。到着地は県立大磯城山公園。古くは横穴墳墓、土器も発掘され、北条氏の出城となり、明治には三井財閥当主の別荘が建てられた。同所の芝生公園で休憩、昼食。展望台では、靄も無く富士山・伊豆半島・大島等が綺麗に一望できた。



快晴の県立大磯城山公園にて

# 『作品展』に千人ご来場

第18回作品展が4月24日〜29日藤沢市民ギャラリーで開催され、千人を超す方々にご覧頂きました。

今回は会員・会員家族51名が絵画・写真・書道・陶芸・工芸など多岐にわたる作品を出展しました。

さらに26日に出展者交流会を行ない、各自がスクリーンに映し出された自分の作品の前で制作の狙い等を語りました。皆は、独創的な小川祥子さんの「うらしまた郎」、奥野嘉一さんのカラー魚拓、田中比佐子さんの皮の屏風、津上康平さんのデジタルアートなどの制作方法の話や、佐藤壽一さんの

「戦前の自宅の白黒写真」から当時を思い出して絵を書かれた話などに興味深く聞き入りました。今回から作品の多様化を受けて『美術展』から『作品展』に名称変更しました。今後も皆様が気楽に



各々作品の制作意図を語る！

作品を出せ、交流会などで親交を深めて頂ければと考えております。今回は一人でも多くの皆様のご出展をお待ち申し上げております。作品展幹事 野村幸男(昭49商学)



作品展会場にそろった出展者の皆様

## 「薩埵峠と桜えび」に参加！

### ハイキング

5月26日(土)、藤沢から100kmのところ東海道の宿場町・興津から由比への峠道を、ハイキング気分

で軽く歩くほどのことでしたが、峠からの景色は、誰もが一度は見ておきたくなるまさに「絶景！」(広重)でした。富士山を望み青い相模湾が広がり、下には東名高速・国道一号线・東海道線が走っています。

ハイキングとしてはもう少し歩きたくなるころでしたが、由比

へ向かう間の西倉沢の宿場町としての古いたたずまいの中、いろいろな歴史の逸話を残す望嶽亭(広重の版画にもその名を残す茶屋で、幕末に官軍に追われた山岡鉄舟がフランス製のピストルを残しこの茶屋から逃げたとの事)を見学したり、そして雰囲気豊かな『くらさわや』での桜えびの昼食も、こうした所に来てこそ味わえるものと感じました。

前回のハイキング鎌倉の落ち着いた佇まいの住宅街から山深さ

を感じさせる裏山ハイキングとはまた違った組み合わせで楽しい一日を過ごせました。

関 照雄(昭44法学)



絶景の薩埵峠にて

# 穂 漣

## フジロード散策と新庁舎見学及び旬菜賞味

### 四季の会～春～

絶好の散策日和の連休最終日5月6日(日)白旗神社で散策の安全を祈願し、神社の弁慶藤(紫藤)義経藤(白藤)をスタート地点に境川フジロード散策を14名でスタートした。今年はやや桜同様すべての花が例年より1〜2週間早く満開を迎えたため当日は、花が見られず残念な結果となった。

その後、御殿辺公園、遊行寺、藤稲荷(藤沢で一番古いお稲荷様)、船玉神社(昔は、江ノ島からこの神社まで舟運があった)と訪れ、境川沿いに市役所新庁舎に到着した。有賀会員の案内で、市役所9階市議会議場を特別に案内



最後の「まつだ家」は満開!

していただき、議場の雰囲気を感じ、市庁舎を後にして、旬菜賞味に向かった。  
会場は、「まつだ家」で、17名で大いに食べ、大いに飲み、大いに語り、有意義な時間を過ごし夏の会での再会を期し散会した。  
庄司 修(昭和48・理工)

### 言葉遊びの会

3月21日お彼岸の中日とはいえ吹雪の舞う中ふじさわ宿泊交流館にて『ふじさわこどもカルタ』と藤沢稲門会の言葉遊びの会の会員が詠んだ『かるた藤沢百趣』のお披露目が開かれた。

同かるたは、会員で芥川賞作家の宮原昭夫氏監修の下、1年半をかけて選定された力作である。藤沢稲門会からは関係者4名が参加した。

## 「かるた藤沢百趣」のお披露目に参加

それぞれが藤沢市の文化、歴史等の自慢が詠まれており、地図にのせてみるとうまく全体がカバーされ視点の違いが面白かった。その後小学生10名による熱のこもったかるた取りが行われた。双方のカルタを順次に読み進めた。こどもカルタの取札は絵で、藤沢百趣は文字だけの取札なので小学生には難しいと思われるが進むにつれ、読み終える前に取る子供もいて盛り上った催しとなった。途

## 文芸サロン

### 「かるた藤沢百趣」より

- 〈海辺〉  
ウィンドサーフィン 風受け走る  
ヨットの白帆は 沖滑る  
鵜沼登祥 ビーチバレーの  
焼けた素肌に 汗と砂  
鵜沼海岸 サーファー族が  
老若競って 波に乗る  
湘南海岸 囁耳の碑に  
中国国歌の 曲刻む  
力合わせた ロープの先に  
魚飛び跳ね 地引網



真剣な子どもに 圧倒される!

中で鈴木恒夫市長も駆けつけ、市民との触れ合いを楽しんでいた。イベントは無事終了し寒い日ではあったが、心温まる思いで帰路に着いた。最後にこの機会を与えて頂いた市観光協会武田専務、市郷土歴史課に感謝申し上げます。  
追記『言葉遊びの会』の入会、豪華手製『かるた藤沢百趣』の問合せは、三潜代表幹事

小泉英春(昭和52社学)

### 〈市街〉

- 街道沿いの プラネタリウム  
北の拠点は 湘南台  
工業団地は 言葉さまざま  
保育園まで 国際化  
櫛の並木 四季とりどりに  
ライフタウンは 丘の街  
再開発の 辻堂駅は  
テラスモールが シンボルに  
輝く太陽 パネルにそそぎ  
スマートタウンが フル稼働

## 行事予定

- ◆地引き網と 相模湾の自然に親しむ会 (堀川網)  
日時・9月17日(敬老の日)  
会場・鵜沼海岸 堀川網 (前年と同じ)  
※詳細は同封のパンフレット参照
- ◆第18回 神奈川県支部大会  
日時・11月3日(土)  
会場・寒川神社参集殿  
主管・茅ヶ崎稲門会
- ◆忘年会  
日時・12月1日(土)  
会場・藤沢市民会館

編集委員長 外岡 健  
編集委員 葛西暢人・佐藤順子  
高野尚志・中野正一  
元 憲幸・山口金雄  
山下扶佐子